がんサロンを
もっと利用しませんか

病院と家庭を繋ぐ第3の場所の役割とは

がんサロン活動をより広く知るとともに、多様な開催形式や目的があることを知り、理想的な利用方法を学びましょう。
がんサロン主催者にはサロンを継続するための工夫、支援活動、さらに医療者と患者・家族が協働して作る理想的ながん医療環境を探りましょう。

日時	2025年8月3日（日）　13時00分～16時00分 （12時30分開場）
場所	栄ガスビル　ガスホール　(名古屋市中区栄3丁目15-33)
参加費	無料
参加数	130名
申し込み	事前申し込み不要

プログラム

基調講演　松岡 宏　（藤田医科大学　総合消化器外科）30分
（がんサロンがなぜ必要か、患者支援活動にはどのようなものがあるかなど）

がんサロン主催者の紹介　60分
（5つくらいなるべく開催形式の異なるサロンの紹介）

座談会　医療者と患者家族が共に作るがん医療環境とは
テーマ1 がんサロンを継続するための工夫
テーマ2 PPI(患者市民参画)などの患者協働活動について

主催　NPO法人愛知キャンサーネットワーク
お問い合わせ　愛知キャンサーネットワーク
E-mail: info@aichi-cancernetwork.com

昨年のプログラムはこちら